

新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい始めてから約3カ月。各国が水際でウイルスの侵入を食い止めようと必死になっていたのは以前の話で、今や国によっては、医療崩壊の事態に陥っており、日本も対岸の火事では済まないことを肌で感じている状況になっています。

生徒の皆さんも社会の一員としての自覚をもって、感染拡大防止のために不要不急の外出を避け、規則正しい生活習慣を身につけようと、我慢・努力・工夫の日々を送っており、きっと6月には感染収束の目途が立ち、いつもの高校生活が返ってくることを楽しみに待ちながら、この難局を仙台工業生としての誇りを胸に、乗り越えていただきたいと思います。

ところで、最近のニュースで「ショック」という、忘れかけていた言葉を耳にしました。私は幼い時から「プラモデルづくり」が大好きで、お小遣いで「車」「飛行機」「お城」など、時を忘れて作りました。1970年代、小学校の学年が上がるにつれ、プラモデルの価格が2倍、3倍、・・・と。まさしく「第一次、第二次オイルショック」でした。当時、買い占め、売り惜しみ、公害問題、悪質金融と華々しい「東京五輪」「大阪万博」から一転、オイルショックが世相に影を落とします。

